

スパークル

「君の名は」の主題歌^{しゅだい か}

まだこの世界は 僕を飼いならしてたいみたいだ
望み通りだろう 美しくもがくよ

互いの砂時計 眺めながらキスをしようよ
さよならから一番遠い 場所で待ち合わせよう

辞書にある言葉で出来上がった世界を憎んだ
万華鏡の中で 8月のある朝

君は僕の前ではにかんでは澄ましてみせた
この世界の教科書のような笑顔で

ついに時はきた昨日 までは序章の序章で
飛ばし読みでいいから こっからが僕だよ
経験と知識と カビの生えかかった勇気を持って
未だかつてないスピードで 君の元へダイブを

まどろみの中で生ぬるいコーラに
ここでないどっかを夢見たよ
教室の窓の外に
電車で揺られ運ばれる朝に

愛し方さえも君の匂いがした
歩き方さえもその笑い声がした

いつか消えてなくなる君の全てを
この目に焼き付けておくことは
もう権利なんかじゃない義務だと思うんだ

運命だとか未来とかって言葉がどれだけ手を
伸ばそうと届かない 場所で僕ら恋をする
時計の針も 2人を横目に見ながら進む

そんな^{せ かい}世界を 2 ^{ふたり}人で ^{いっしょう}一生いや何 ^{なんしょう}章でも

^い生き^ぬ抜いていこう